

「衣更着」「気更来」「生更木」

如月（きさらぎ）とは旧暦の2月をさしますね。その由来を調べてみると、厳しい寒さに備え重ね着をする季節を意味する「衣更着（きさらぎ）」段々と春に向けて陽気がくることを意味する「気更来（きさらぎ）」春に向けて草木が更に生えてくるという意味の「生更木（きさらぎ）」



から転じたという3つの説がありました。

学校花壇の花や正門前の桜のつぼみは、間もなくやってくる春に備えています。今年度も残り1か月余り…。子どもたちも、学年のまとめをして、進級に備えています。

*くすのきボランティアの吉永さんが、寒い中、学校花壇のお世話をよくしてくださっています。

進んで健康づくりに取り組む児童の姿を求めて

本校では、「自他を大切に、進んで健康づくりに取り組む児童の育成に努める」ことを重点取組事項の1つとして掲げています。そこで、子どもたちが、主体的に、また生涯にわたって歯と口の健康づくりに取り組む姿を求めて「歯と口のハッピー検定」を行い、知識だけではなく歯磨き等の技能の定着を図る取組を行っています。

1・2年生の技能検定を行った際は、阿武町健康福祉課の方、歯科衛生士さん、前養護教諭が来られ、磨き残しがないか見ていただきました。そして、低学年の検定には、中学生も4人来てくれました。

子どもたちのそれぞれの表情を見ていると、このような児童生徒が直接かわる小・中学校の連携した取組によって「あこがれの連鎖」が生まれ、めざす姿により確かにつながっていくと感じました。



6年生の思いや姿を引き継いで

なかよし班清掃の後の反省会をしている様子を見ると、進行が5年生に替わっています。3学期もあっという間に過ぎ去り、残りは半分程度…。様々な活動が6年生から5年生へ引き継がれていきます。同時に、6年生の思いや姿も、全校のみんなて引き継いでほしいと思います。



豊かな心を育む

本校では、図書支援員が週2日勤務するなど、学校図書館の充実に努めています。ある日、メディアルーム（図書室）で本を借りている4年生を見ると…、集中して本を読んでいる子、微笑みを浮かべながら（ニヤニヤ？）読んでいる子、友だちと本のことを話題にしなから小声で会話している子の姿がありました。急速に変化する情報化の時代ではありますが、このような時間も大切だと改めて思いました。



自分の将来を



- ・「自分を大切にする」という言葉が心に残りました。
- ・「分からないからあきらめてはだめ」が心に残りました。
- ・やると決めたら責任をもち、逃げずに最後までやりぬくことを、これからも大切にしたいです。
- ・自分が納得するまでがんばる気持ちになりました。
- ・日ごろから周りを見て行動していきたいと思いました。
- ・算数の勉強が役に立つことを知ってがんばろうと思いました。
- ・わくわくすることを見つけて、仕事をしたいです。
- ・周りの人の役に立てるようにしたいです。

4, 5, 6年生が、保護者や地域の方から、「その仕事を選んだ理由」「仕事をする上で大切にしていること」「大人になるまでに身に付けてほしい力」等々についてお話をお聞きする「職業講話」を行いました。知っているお父さん、お母さんであり、授業でお世話になっている身近な地域の方からの分かりやすい話だったこともあり、自分の将来や理想とする職業観を考える上でとてもよい機会となりました。

家庭と連携して～メディアの使い方～



メディアの使い方をテーマに、4, 5, 6年生と保護者を対象に学校保健安全委員会を行いました。前半は、保健・給食委員会から阿武小学校の実態についてアンケート結果の報告とネット・ゲーム依存症について発表があり、後半は講師の中村圭子先生から、「インターネットやオンラインゲームとうまく付き合っていくために」と題して、児童向けと保護者向けのお話をさせていただきました。

ぼんやりとしか認識していなかったネット・ゲーム依存症についての実態がよくわかり、それが、子どもたちの健全な育ちに多大な影響を及ぼすものであることを再確認することができました。だれでも、依存症に陥ったり、SNSのトラブルに巻き込まれたりする可能性があり、とても危惧しています。

2月7日には、警察による「情報モラル教室」を4, 5, 6年生対象で行い、2月9日の参観日では、5年生が「メディアとのつきあいかた」をテーマに授業を行っています。



保護者の皆さんには、この問題に対してしっかり関心をもっていただき、ともに「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の思いのもと、積極的に取り組んでいただきたいと思います。